



平成30年度 国分寺市障害者基幹相談支援センター スキルアップ研修等実績

国分寺市障害者基幹相談支援センター

◆ 相談支援スキルアップ研修とは

国分寺市内の専門的人材の育成および相談支援の質の向上、相談支援専門員をはじめとする障害者支援に携わる関係機関間の有機的なネットワークの構築を目指して、国分寺市障害者基幹相談支援センターが主催する研修会です。

平成30年度は、4種類の研修を合計7回実施し、延べ387名が参加しました。相談支援スキルアップ研修の開催を通じて見えてきた地域課題は、国分寺市障害者地域自立支援協議会や各専門部会(相談支援部会、就労支援部会、精神保健福祉部会)でも共有し、地域課題の掘り起こしや、課題の解決に向けた検討を行い、具体的な取組へとつなげていきます。

◆ 新任向け研修

参加者
12名

日時:平成30年6月14日(木)

内容:国分寺市内での相談支援の経験が3年以下の相談支援専門員(資格取得予定者を含む)と相談員を対象とし、相談支援に関わる基礎知識を学ぶ。

講師:子ども家庭支援センター、国分寺市社会福祉協議会、NPO法人国分寺市手をつなぐ親の会、障害福祉課

◆ 相談支援事業所訪問

日時:平成30年4月～平成31年3月

内容:相談支援事業所の現状と課題を把握する。

対象:市内8ヶ所の相談支援事業所

地域課題の
把握・共有

◆ 事例勉強会

参加者
22名

第1回:平成30年7月
講師:松浦 明子氏
(ひゅーまん地域生活相談室)

第2回:平成31年3月
講師:白石 弘巳氏
(なでしこメンタルクリニック院長)

内容:事例をもとに支援のポイントや相談支援専門員の役割等を考える。

◆ 個別SV

参加者
33名

回数:年6回(12時間)
日時:平成30年10月～平成31年3月

内容:困難事例を取り上げ、専門家の助言を通して相談支援専門員のバックアップと今後の支援に活かす。

フィードバック

◆ 相談支援事業所連絡会

参加者
108名
(延べ)

日時:平成30年5月～3月
(毎月第3木曜日、13:00～15:30を基本に開催)

内容:市内すべての相談支援事業所が参加し、情報共有や相談支援に関する課題の検討などを行い、相談支援事業所のスキルアップと一層の連携強化を図る。

平成31年2月21日(木)相談員のためのワークショップ
講師:松浦 明子氏(ひゅーまん地域生活相談室)

◆ ネットワーク研修

参加者
33名

① ネットワーク研修(地域移行)

日時:平成30年5月16日(水)

内容:精神科病院の長期入院者が地域で暮らせるまちづくりに向けて、支援者同士の信頼し合える関係づくりを進めるとともに、私たちにできる具体的な行動を考え、地域移行支援の促進を目指す。

講師:多摩総合精神保健福祉センター
はらからの家福祉会、精神保健福祉部会

地域課題の
把握・共有

精神保健福祉部会との運動

② ネットワーク研修(介護保険)

参加者
85名

日時:平成30年10月5日(金)

内容:国分寺市ケアマネジャー連絡会と共催し、日々業務を行う中で直面する、要介護状態の80代以上の親と50代前後の障害のある子の世帯「8050問題」から、世帯を支える地域包括ケアシステムのあり方を考える。

講師:白石 弘巳氏(なでしこメンタルクリニック院長)

③ ネットワーク研修(児童)

参加者
21名

日時:平成31年2月26日(火)

内容:発達に気がかりのある子どもの子育ての実際と家族の思いに触れ、子どもの育ちへの支援に活かす視点を学ぶとともに、市内の障害児支援に関わる関係機関や支援関係者の顔の見えるネットワークの構築を図る。

講師:角田 みすゞ氏(ベル相談室、臨床心理士)

地域課題の
把握・共有

相談支援部会との運動

地域課題の
把握・共有

※参加者数に、国分寺市障害者基幹相談支援センターの職員及び講師は含みません。

◆ 支援者向け研修

参加者
61名

日時:平成30年12月6日(木) 講師:池原 毅和氏(東京アドヴォカシー法律事務所、弁護士)

内容:障害者虐待防止法の内容を理解し、虐待がなぜ起きるのかを考える中で、日々の現場で虐待や権利侵害につながる虐待の芽について感じる力を養うとともに、意思決定支援の基本的な考え方を学び、一人ひとりの権利擁護につながる意識を高める。